★忙しい研究者・技術者からどのように発明を引き出すか！！
★専門の違う技術者からどのように発明の全体像を把握し、まとめる方法とは！！

セミナー№.９０８５０９

演習付き

若手知財部員のための
発明のヒヤリング技術とまとめ方

●日　　時：2019年8月29日（木）10:00～17:00
●会　　場：［東京・五反田］　日幸五反田ビル8F
技術情報協会セミナールーム
※定員になり次第、申込みは締切となります。

●聴講料：1名につき 50,000円（消費税抜、昼食・資料付）
〔1社2名以上同時申込の場合のみ１名につき45,000円（税抜）〕
〔大学、公的機関、医療機関の方には割引制度（アカデミック価格）があります。
詳しくはお問い合わせください〕

講 師：アイディエーション・ジャパン(株)　取締役ＣＴＯ　ＴＲＩＺシニアコンサルタント　長谷川 公彦 氏

【講師プロフィール】
1976年　レオン自動機株式会社に入社し、食品自動機械の開発設計に従事
1980年　日幸工業株式会社に入社し、初代特許室室長を務める
1989年　ホリー株式会社に入社し、総合研究所次長、特許室次長を努める
1999年　佐野国際特許事務所に入所し、特許調査、出願、中間処理、知財創造コンサルを努める
2010年　ウィルフォート国際特許事務所に入所し、TRIZセミナー、コンサルを努める
2011年～アイディエーション・ジャパン株式会社　取締役CTO就任、TRIZコンサルを務める

【講演のポイント】
日頃、技術開発活動が収益につながらない、知的財産が役立たない、といわれていませんか。そもそも、取り組んでいる技術開発のテーマがよくない。同業他社と同じテーマに取り組んでいるため、技術開発が製品の性能や効率、品質向上といった技術パラメータの最適化競争に終始している。今こそ、良い発明を生み出し、強い特許権を取得し、その権利を活用する、といった知的財産マネージメントの原点に立ち返って、日常の知財業務の在り方を考え直してみるべきです。
良い発明とは他社が取り組んでないテーマを選択することにつきます。それには、発明者が日々の創作活動を発明提案としてまとめる行為に関連して、知財担当者がどれだけ支援できるかで決まります。発明・特許意識の高揚、発明の発掘、発明の育成、発明の完成までの工程でどんな対応をすべきかを理解することから始めてみてください。知財担当者が発明者と一緒になって発明を掘り下げ拡げる技法を身につけて実践することが必要なのです。
要は知財担当者が研究者、技術者と一緒になって発明を真剣に考えるという姿勢と態度が重要ということです。
本講座は、特許庁のホームページで公表されている「知財人材スキル標準」に規定されている技術開発で実績のあるTRIZという手法を進化させ続けている米国のアイディエーション・インターナショナル社が開発した知的財産制御（CIP: Control of Intellectual Property）の考え方を利用して、発明のヒヤリングに役立てようというものです。本講座の中では、受講者の習得度を上げるための演習を行いますので、1日で因果関係ダイヤグラムという技法を通して論理的な聴き取りと発明の質の向上が図れるようになります。

【講演項目】
1. 発明のヒヤリングとは
2. ヒヤリングの位置づけ
　2-1. 特許意識の啓蒙と種まき
3. 発明の本質の把握（上位概念化）
　3-1. 発明の本質とは
　3-2. 発明の四要素
　3-3. 発明把握の3つアプローチ
　3-4. 発明的なものの見方は
4. 発明の本質の表現
　4-1. 技術の言語的表現最小単位
　4-2. モノ、コトの概念定義
5. 発明をヒヤリングする際のポイント
　5-1. 問題の捉え方と原因追及
　5-2. 問題の捉え方とアイディア
6. 発明の変形例、具体例の展開
　6-1. 発明の展開の観点
　6-2. 発明の種類を変えて展開する
7. 発明の変形例、具体例の展開
　7-1. 発明の全体像
　7-2. 発明の論理的説明
　7-3. 発明提案書の構成
8. 聞き取った内容のまとめ方
9. 発明のヒヤリングのシミュレーション（グループ演習）
【質疑応答】

「ヒヤリング」セミナー申込書　No.908509　8／29　〔講師紹介割引 聴講料２割引き〕

会社名		事業所・事業部	
住所	〒		
TEL		FAX	
	所属部課	氏名（ﾌﾘｶﾞﾅ）	E-mail
受講者1			
受講者2			

今後、定期的な案内を希望されない場合、案内方法に×印をお願いいたします。
（現在案内が届いている方も再度ご指示ください）　〔 郵送（宅配便）・FAX・e-mail 〕

講師からの紹介として、1名につき定価の2割引きでご受講できます。
2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。
申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。
お申し込み後はキャンセルできませんのでご注意ください。
申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りします。

個人情報の利用目的
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします

技術情報協会
TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.
申込専用FAX 03-5436-5080